

今年是国内最後の内戦「西南の役」が終結し、西郷隆盛が没して一四〇年の節目の年です。  
今回は、西南の役の経緯と霧島で起きた戦いなどについて紹介します。

### 西南の役の経緯

明治十年一月二十九日の私学校生による鹿児島市草牟田の官軍火薬庫襲撃が発端となって、薩摩軍は挙兵しました。戦いの主な経緯は次の通りです。

二月十七日 薩摩軍出陣。

二月二十二日 熊本城攻防戦。官軍の籠城は五十二日間続き、陥落しなかった。

植木の戦い(熊本市)。薩摩軍が勝利し、官軍敗走。  
高瀬の戦い(熊本県玉名市)。官軍が兵力の増加と豊富な重火器によって優位となり薩摩軍敗走。

三月 三日 田原坂の戦い(熊本市)。西南の役の天王山となった戦いで、両軍の死傷者は四千人を超えた。

五月 九日 人吉攻防戦。薩摩軍は陣容を立て直しを図ったが、官軍の多方面からの進撃によって小林方面に敗走。  
六月十九日 都城攻防戦。七月二四日に都城陥落。

この間に市内各地で戦いが勃発。  
八月十五日 和田越の戦い(延岡市)。  
九月 二日 城山包圍戦(鹿児島市)。

## 西郷隆盛と霧島 その⑨

### 「西南の役」と霧島の戦役跡

薩摩軍総勢三七二人が城山に籠城。  
九月二四日 城山総攻撃。西郷自決。

#### 市内の戦役跡①(春山)

七月六日から十一日にかけて、大窪・春山で戦いがありました。重久方面から進軍してきた官軍に対して、薩摩軍は馬堀を即席の堡壘として利用して戦いましたが、圧倒的な兵力と火力の差で敗退しました。

春山には現在も薩摩軍の墓石が残っ

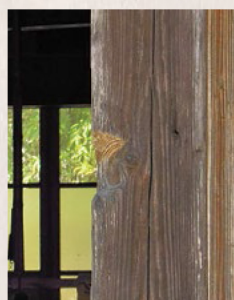
ており、墓石には「明治十丁丑七月八日戦死」の文字と隊長の有屋俊成をはじめ十三人の名前が刻まれています。

#### 市内の戦役跡②(福山佳例川)

熊本方面の攻防戦に敗れた薩摩軍は都城を基点に官軍を迎える陣を配置しました。福山地区においても薩摩軍は財部境(陣ヶ丘)に布陣した一方、官



①春山に残る薩摩軍の墓石



②井之口家旧住居に残る刀傷

軍は佳例川の立元集落の高台や二子塚に陣を築きました。戦いは七月十五日から始まり、都城が陥落した七月二四日以降も続きました。  
二子塚には現在も官軍が築いた堡壘跡がわずかに残っており、地元住民の話では、畑の耕作時に鉄砲の弾がときどき見つかるそうです。また、近くにある井之口家旧住居には、薩摩軍が襲撃したときに付けられたとされる「刀傷」が残っています。  
今回は牧園地区と横川地区での戦いについて紹介します。

(文責 鈴)

※1 馬を逃がさないための深い堀。  
※2 敵の攻撃を防ぐため土砂などで作った陣地。